

今年度の教育活動を振り返って

桂川小学校 校長 合澤 博之

10月から始まった校舎の外壁工事が着々と進み、塗装された校舎が美しく輝いています。令和3年度も、新型コロナウイルスの感染状況を常に考えながら、教育活動を進めてまいりました。「子どもたちの学びを止めない」という桂川町の教育方針のもと、緊急事態宣言解除後の10月からは、学年運動会、6年生の修学旅行、5年生のスキー体験、学習参観等、子どもたちが楽しみにしている学校行事を少し形を変えながら行っていきました。感染状況は、まだ安心出来ませんが、今後も状況を見ながら、できることを工夫して取り組んでいきます。

また、この一年で、一人一台のタブレットを使った学習も進みました。学習ドリルを使っている反復学習や、インターネットでの調べ学習、キーボードの練習等が教室で簡単にできるようになり、ICTの活用力も高まっています。

「やればできる桂川キッズ」を合言葉に、教育活動を進めてまいりましたが、生活面では、特に「挨拶・掃除」に力を入れました。「語先後礼の挨拶」「掃除は、だ・い・じ(黙って、一生懸命・時間いっぱい)」の合言葉が、子どもたちにしっかりと定着しつつあります。

昨年12月末に、本校で平成7年から平成9

年まで校長を務められた堀 長直先生から、書を寄贈していただき、学校の玄関に飾りました。NHKラジオドラマ「鐘の鳴る丘」のテーマ曲である「とんがり帽子」(作詞：菊田一夫 作曲：古関 裕而)の歌詞が書かれたものです。

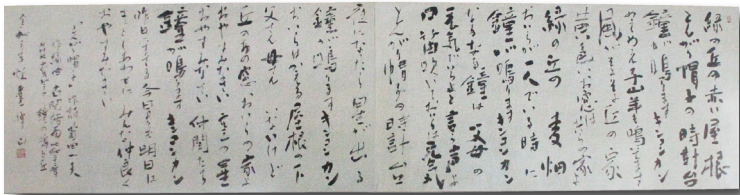
「とんがり帽子」は、次のような言葉でしめくくられています。

「昨日にまさる今日よりも 明日はもっとしあわせに みんななかよく おやすみなさい」

子どもたちが、こんな気持ちで、明日を楽しみにしながら、一日一日を終えられるよう、そして、未来に夢を持ちながら、日々を過せるよう、教職員一同、力を合わせて、よりよい学校づくりに努めてまいります。

今後、学校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

▲堀 長直元校長より寄贈いただいた「書」。桂川小学校玄関に飾っております。



一年間を振り返って

桂川東小学校 校長 金田 泰弘

「失敗を恐れずチャレンジできる子ども」の育成は本年度重点目標の一つです。「チャレンジしてみる人は、いませんか」と算数の授業中に担任が聞くことで、手を挙げて解き方や考え方を説明する子どもが増えた学年もあります。さらにチャレンジできる子どもを育てていく必要があります。

「本校が目指す子ども」どれくらい達成できているでしょうか。

【人と人とのかわりを大切にできる子ども】委員会活動や縦割り掃除は上学年の子どもたちを中心に、よくがんばっています。気持ちの良い挨拶が地域の方々や来校者、そして友だちに自分からできるようになってきました。自分の気持ちをきちんと相手に伝えることは、大人でも難しいことがたくさんあります。しかし、様々な場面や活動を通して、上手に思いや気持ちを伝えることができる人になってほしいと思います。

【がんばり抜く心と体を持った子ども】昼休みに運動場や中庭で遊んでいる姿が多く見られます。学年を超えてお互いの名まえを呼び合い遊んでいるのは、

本校の子どもたちのいいところです。11月にはバランス運動、12月にはタグおにごっこが児童会主催で昼休みに行われました。また、各自の目標とする技や回数達成するための縄跳びの練習もがんばっています。

【しっかりと学ぶ子ども】

毎朝の「のびっ子タイム」では、漢字・計算練習や新聞記事を活用した読解・記述の学習など、どの学年もがんばっています。本校では、書く活動について学校全体で取り組んでいます。子どもたちがよく考えて、その考えを書いて表現できるようにするための授業改善を行っています。どの教科でも、「頭を働かせて考える」授業づくりをしていかなければと考えているところです。

今後とも、桂川東小学校へのご協力とご支援をお願いいたします。

桂川東小学校が目指す子ども

- ◎ 人と人とのかわりを大切にできる子ども
- ◎ がんばり抜く心と体を持った子ども
- ◎ しっかりと学ぶ子ども

